

【野外活動】

活動名		スコアオリエンテーリング			
概要	○定められた時間内にグループ内で協力しながら、地図を頼りにエリア内のポストを探し出す。				
ねらい	○班の中で作戦を立て、協力しながらゲームを楽しむことができる。 ○方向、目印、距離をもとに地図の見方がわかるようになる。 ○自然の家のフィールドを広く動き回り、しっかり体を動かすことができる。				
関連教科等	算数・理科・社会・体育・道徳・総合				
指導形態	①自主活動で実施、②職員は活動の説明のみ行う				
時期	通年	時間帯	日中	対象	高学年～
場所	施設内全体	人数	～200人程度 (2～8人/1グループ)	所要時間	1.5～2.5時間 (事前説明含む)
準備物	施設で準備できるもの		団体・個人で準備するもの		
	ゼッケン、地図付き解答用紙、腕時計、バインダー、筆記用具、トランシーバー、くまずす		野外活動に適した服装 (帽子、長袖シャツ、長ズボン)		
進め方・展開例					
内容			留意点		
活動前	○事務室で打ち合わせを行う。 ・実施の判断 ・ねらいの確認 ・流れの確認と物品の受け渡し(準備物参照)		○荒天時は相談の上、実施判断をする。 ○自主活動で実施の場合は、活動の進め方を確認する。		
活動の説明	○職員(または団体代表者)からの説明をきく。 ・オリエンテーリングの進め方 ・地図の見方 ・指導者の場所、トイレの場所の確認 ・時間、ペナルティーの確認 ・危険な動植物について		○得点だけを追い求めるのではなく、みんなの協力が大切なことを伝える。 ○ねらいに応じて自然・環境の大切さにも触れ、野山の歩き方(フィールドマナー)を考えさせたい。 ○班員が一緒に行動することを約束とする。		
展開	○作戦を立てる。 ○一斉に出発する。 (大人数の場合は時間差をつける)とよい) ○本部で到着の班をチェックする。		○活動の時間は、出発してから1時間30分位が目安。 ○指導者間の連絡を密にし、研修者を把握し安全と事故防止に努める。(トランシーバー使用可) ○指導者の監視場所については、本部の他、15、24、32、37番ポストに配置する。 (15、24は必須)		
			【マップと解答用紙】		
まとめ	○得点をあげたことだけを取り上げずに、友達同士助け合ったことなどを発表し合う。				
評価	○班で作戦を立て、協力して活動できたか。 ○方向、目印、距離をもとにポストを探すことができたか。 ○草木や生き物を見ながら、自然に親しむことができたか。				
発展	○オリエンテーリングをしながら、植物を採集したり、動物の痕跡を見つけたりすることを取り入れながら展開することもできる。各団体のねらいに応じて工夫をすることが望まれる。				